

BEING JOHN MALKOVICH
JOHN MALKOVICH
presents

INDIRA ROJA
a **SANTOSH SIVAN**
picture

STAR WARS EPISODE II / ATTACK OF THE CLONES
AYESHA DHARKAR
starring

1991年ラジブ・ガンジー首相暗殺事件をモデル
自爆テロ要員として育てられた少女の愛情と平和への目覚め

生命が ある



任地に赴く途上、自然の時に生きる農夫は、少女マツリに語る。

2つの種の話だ。片方は楽観的で、もう片方は悲観的。

楽観的な種は夢を語った「地面にまかれた暁には大木になってやる」。

根っこは地中深くまでずんずん伸ばし水脈を探り当てる。

木の葉は風にそよぎ雨つゆを受ける。大地を見下ろし喜びにひたる。

悲観的な種は反論する「根っこを伸ばしてどうなる。そのせいで土が窒息してしまう」。

成長したら引っこ抜かれ、花は髪飾りにされる。大きくなるのも考えものさ」。

楽観的な種は大木に育ち、悲観的な種はただ待ったが、めざとい鷄に食べられちまった。

分かるか？ まずは夢を持たねばな。でなきゃ何事も始まらない。

種を植えなさい。ある日、伸びた茎の先に一輪の花が咲く。その花に何を見る？ 大地の微笑みだ。

土を掘り、マツリは一粒の種を植えてみた…。

マツリの種

NOW SHOWING! UNTIL MAY 31 Everyday 10:20 12:30 2:40 4:50 7:00
FROM JUNE 1 Morning 9:30 Night 9:20

SHINJUKU MUSASHINO-KAN 03-3354-5670 <http://www.musashino-k.co.jp>

「マルコヴィッチの穴」
提供:ジョン・マルコヴィッチ

「インディラ」「ロージャ」
監督:サントーシュ・シヴァン

「スター・ウォーズ エピソード2/クローンの攻撃」
主演:アイシャー・ダルカール

マッリの種

各界が絶賛
(五十音順)

浅井信雄氏(国際政治学者)

自爆任務を達成する少女の人間性に焦点をあてる。なんと繊細で、優しく、残酷で、哀しいことか。少女の息遣いに人間のすべてが混在する。

キャロル久末さん(DJ・映像プロデューサー)

私は、何度、泣いたのだろうか。マッリの悲劇は戦いしか知らない、他の世界を知らないことだが、私たちの悲劇は彼女の世界を知らないということだ。

龍村仁氏(映画「地球交響曲」監督)

今の時代にもっとも空しくひびく「愛と非暴力」という言葉。
この、まぎれもない生命の摂理が心に浸み込んでくる。



松岡環さん(インド映画研究者)

大輪に花開いた、大物監督サントーシュ・シヴァン。
今やボリウッドの人気監督となった彼の出発点が「マッリの種」だ。

ジョン・マルコヴィッチ氏(俳優)

研ぎすまされた美しい映像と骨太で力強いストーリーに
衝撃を受けた。ここ数年で「マッリの種」は
最も忘れがたい作品の1本だ。

MALLI

インド/1988年/カラー/ヒスタ/タミル語/99分/配給:キングレコード、ギャガ・コミュニケーションズ、ゼアリスエンタープライズ 祝・日印国交50周年

6月29日(土)～7月12日(金)
衝撃のロードショー

◇前売券¥1,500(当日:一般¥1,800・大高¥1,500のところ)好評発売中!!

◆劇場窓口にて前売券をお買い求めの方にポストカードをプレゼント!!(先着100名様)

◆6/29(土)・6/30(日)・7/6(土)・7/7(日)先着各20名様にごサカタのタネをプレゼント!!

地下鉄動物園前より出口・フェスティバルゲート7F
動物園前 **シネフェスタ4**

☎06(6647)7188 <http://www.cinefesta.com>

各回入替 11:00 2:50 4:50 6:50

